

半歩先の道灯し続けた安藤氏 死去

財団法人中部トラック総合研修センター（現・一般社団法人愛知県トラック協会中部トラック総合研修センター）の元専務理事で

NPO法人日本物流研究グループ（堀田佳秀理事長）監事の安藤小四郎氏が8日、愛知県がんセンター愛知病院で死去した。80歳だった。1934年愛知県生まれ。中央大学卒業後、トラック運送会社に入社。経営・総務・営業・安全・運行・教育等各部門を担当した。91年の中部トラック総合研修センター設立と同時に専務理事に

就任、物流大学校講座など多数の講座を通し1000人を超える卒業生を排出。次代の運送経営者を育成してきた。10年4月の調査役を経て退職。11年にはNPO法人日本物流研究グループを設立し、若手経営者の育成にあたった。その他、これまで財団法人運行管理者試験センター評議員、独立

行政法人自動車事故対策機構の指導講習検討委員及び専任講師を務めるなど、業界の発展に幅広く尽力してきた。

10日に営まれた告別式では堀田理事長

が、「安藤さんには常に社会の半歩先を歩くことを教えられた。お見舞いの帰り際に『後は頼んだよ』と言われた。きっと皆さん一人ひとりに声を振り絞ってお言葉をかけられたのだと思う。私もその思いを託された一人として期待に応えられるよう生きていきたい」と涙ながらに弔辞を述べた。

物流大学校第11期卒業生で、物流経営士の中田純一氏（中田商事）は、

「物流大学校のおかげでトラック業界の経営者がようやく勉強をする下地ができたのではないかと。安藤さんには意識を持つためには知識が必要だということを知られた。亡くなったが彼の思想は多くの卒業生らに受け継がれている。どうか安心してお休みになってほしい」と語った。

